

# やすらぎ

京都市立病院  
広報誌

2017・4

春



二条城 東南隅櫓(中京区)

—特集—

## 消化器外科 ～患者さんに優しい治療を～

- ◆ 京都市立病院の認知症対応について
- ◆ 放射線技術科のご紹介～安全な治療を提供するために～
- ◆ 栄養サポートチーム(NST)ってご存知ですか？
- ◆ <京北病院>地域包括ケア病床運用を開始!
- ◆ 無料送迎バスの運行会社が変わりました!



地方独立行政法人京都市立病院機構  
京都市立病院

# 消化器外科 ～患者さんに優しい治療を～



患者さんにとって  
より負担の少ない治療!  
難治性がんに対する  
積極的な外科手術も施行!

消化器外科部長 松尾 宏一

## 患者さんにとってより負担の少ない治療を目指して

当院の消化器外科では、患者さんの身体にとってより負担の少ない治療を目指しています。傷を小さくすることで痛みを減らすこともできるため、積極的に腹腔鏡を使った手術（腹部を大きく切開することなく、小さく切開した穴からカメラやメス等を挿入して行う手術）を行っています。

以前は、がんに対する手術といえば、大きな傷でたくさんの臓器を取り出すことが一般的でした。しかしながら、近年では、内視鏡カメラなどの機器もどんどん進化しており、カメラで拡大して見ることで、より精度の高い手術で、かつ、それを小さい傷で行うことが可能になってきました。

当院においても、平成28年度における腹部の手

術のうち約75%は腹腔鏡を使って行いました。

患者さんに負担の少ない治療を行うためには、外科手術だけでなく、多くの治療の選択肢を持つことが重要だと考えています。そのため、複数の診療科との連携を密にすることを心がけています。例えば、消化器がんの場合には、消化器内科・放射線治療科・病理診断科の医師や看護師と週2回集まってカンファレンス（相談）をしています。

また、早期のがんの場合には、腹腔鏡手術ではなく、内科で内視鏡を用いて切除〔EMR（ワイヤーで焼き切る治療）等〕をしてもらい、進行したがんの場合には、優先的に抗がん剤治療や放射線治療を行い、その後に外科手術を行うこともあります。

## 難治性がんに対しても積極的に手術を行っています

当院の消化器外科では、肝胆膵領域のがん（肝臓がん・胆道がん・膵がん）などの難治性の高い「がん」についても積極的に手術を行っています。

近年は、CTなどの画像診断も進歩してきており、

手術を行う部分の血管や他の臓器の位置関係などを前もって3D画像で確認することができるようになりました。その結果、より安全にかつ正確な手術を行うことができるようになってきました。

京都市立病院の外科・消化器外科では、本年4月から専攻医が加わり、院長をはじめとする14名のスタッフで診療に当たっています。取り扱っている病気は、胃がんや肝臓がんなどの悪性疾患が中心ですが、急性虫垂炎や胆のう炎などに対する緊急手術も積極的に行っています。

## 手術支援ロボット“ダヴィンチ”を使った胃がん手術



手術支援ロボット“ダヴィンチ”を使った胃がん手術も積極的に行っています。ロボットといっても、機械が自動的に動くのではなく、外科医が3D画像を見つつ少し離れたところから操作していきます。

このロボットを使うことによって、一般的に行われている腹腔鏡手術と同様にカメラで細かい部分まで近づいて診ることができ、更に人の手よりも精緻な動きが可能で、患者さんの負担がより少なくなります。

手術支援ロボットの使用で、手術の合併症を減らし、がんの再発リスクを減らせるのではないかと期待されています。



ダヴィンチ手術の様子

## 今後の目指す方向性

引き続き、患者さんにとって負担の少ない治療を複数の診療科と連携して実施していきます。

また、直腸がんについてもロボット支援手術の導入を予定しているほか、消化器内科の医師と連携して内視鏡と腹腔鏡を組み合わせた手術（LECS）や手術前・手術後の放射線療法等についても積極的に実施していきたいと考えています。

さらに、院内だけでなく、近隣の診療所の先生方とも密に連携しながら診療を行っています。直接救

急車で来院される患者さんも増えていますが、診療所からの紹介で来院される患者さんも増えてきます（平成28年度は、外科で手術を行った患者さんの約6割が地域からの紹介患者さんでした。）。

高度な急性期病院である当院と地域の診療所、それぞれの良い部分を患者さんに上手く使っていただけるように、地域の先生方と直接相談しながら診療に当たってまいります。

# 京都市立病院の認知症対応について

高齢化社会といわれて久しいですが、とりわけ近年は認知症に対する話題が多くなってきました。年を重ねることにより、認知機能が一定程度低下することはやむを得ないことですが、自分自身やご家族が認知症ではないかと心配されている方も多くいらっしゃるかと思います。

当院では、診療面（神経内科・精神神経科）だけでなく、病院全体で認知症の患者さんに対するケアを推進しています。



神経内科神経難病部長  
藤竹 純子

**自**分自身やご家族が認知症ではないかと心配されている方は、一度当院の神経内科（または、精神神経科）の受診をお考えください。受診時には、日常生活の状況をご本人やご家族からお伺いし、簡単な記憶のテスト等を行うほか、採血やMRI、脳血流シンチグラフィという検査を行います。

認知症の中には、治る認知症もありますので（正常圧水頭症や慢性硬膜下血腫など）、早期発見が大切です。また、認知症の診断には、これまでの病気や現在の身体状態を把握することも重要ですので、かかりつけ医からの紹介状を持参のうえ、受診されることをお勧めします。

認知症の治療には、薬物療法と非薬物療法があります。薬物療法が必要な場合で、徘徊や幻覚が強いときなどは、精神神経科の医師と相談しながら治療を進めていきます。また、非薬物療法の面では、どのような日常生活を送ると進行を遅らせたり、予防できるかをかかりつけ医の先生も含めて一緒に考えていきます。

**精**神神経科では、記憶障害等の認知症の主症状ではなく、次のような認知症の周辺症状を伴った患者さんの治療を主として行っています。

例えば、抑うつ・アパシー（意欲の低下）、妄想・幻覚、焦燥・興奮、攻撃性、行動障害等の周辺症状を取り扱っています。いずれの症状についても、まずは非薬物療法が推奨されており、効果がみられない場合や導入が難しい場合には、安全性を加味しながら薬物療法を行っています。

もっとも、これらの認知症の周辺症状は、患者さん本人だけでなく介護を行うご家族にも肉体的・精神的苦痛を与えうるものです。治療に当たっては、患者さん本人に適した介護環境を整えるだけでなく、ご家族にとっても余裕のある介護環境に導けるよう努めています。



精神神経科部長  
宮澤 泰輔



平成29年3月24日（金）、市立病院にて「認知症サポーター養成講座」を全職員を対象に実施。43名が参加しました！



より質の高い認知症ケアを実施するために、多職種で協議し、マニュアルを改訂。全病棟に配布し、マニュアルに基づくケアを実施。

# 放射線技術科のご紹介

## ～安全な治療を提供するために～

放射線療法は、手術・化学療法と並ぶがん療法の3本柱の一つです。臓器の機能や形態の温存が可能で、局所治療のため全身への影響も少なく高齢者にも優しいがん治療です。

当院は患者さんに安心して治療を受けてもらえるよう各専門スタッフが従事し、高精度かつ安全な治療を提供しています。

### [当院の特徴]

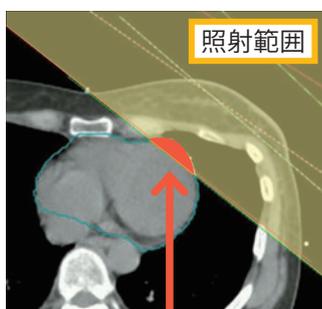
- ◆ がん患者さんの就労支援対策として、午後5時以降の治療も積極的に実施しています。
- ◆ 患者さんの病態に合わせて適切な照射ができるよう、専門資格<sup>※1</sup>を有した技師が協議し対応しています。
- ◆ 患者さんに最新の治療技術を提供するために、様々な関連学会<sup>※2</sup>に積極的に参加しています。
- ◆ 治療装置の精度管理は米国物理学会ガイドラインに準拠し実施しています。

### [当院の照射技術]

#### ① 深吸气左全乳房照射法

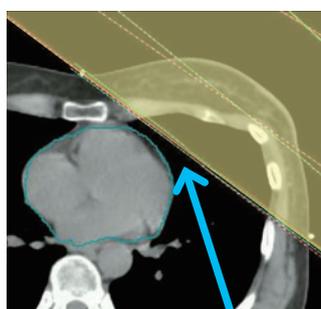
大きく息を吸ってで乳房と心臓との距離を拡げること  
で、心臓への放射線量を減らし、副作用を抑えることが  
できます。

従来の自由呼吸法



心臓に照射された範囲

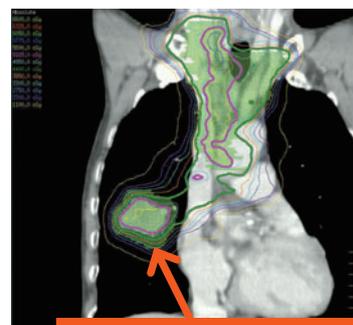
深吸氣息止め法



肺が広がり心臓との距離が  
拡大、心臓に当たりにくい

#### ② 強度変調放射線治療 (IMRT)

強弱をつけた放射線を照射することで、  
病巣部への確に放射線を当てることが  
でき、がんの治療率向上と正常組織の副作用  
軽減が期待できます。また呼吸によって腫  
瘍が動く場合、息を止めて照射することにより、  
放射線を集中させ、IMRTの効果を向上  
させています。



複雑な病巣にも的確に照射可能



#### ※1【専門資格】

照射技術：放射線治療専門放射線技師：2名  
精度管理：医学物理士：3名  
放射線治療品質管理士：3名

#### ※2【関連学会（一例）】

日本放射線腫瘍学会（小線源治療部会含む）  
日本医学物理学会  
日本放射線技術学会

# 栄養サポートチーム (NST) って ご存知ですか？

## 病気の治療には栄養サポート(支援)が欠かせません。

病気の治療や健康の回復には手術や薬物療法、放射線治療、リハビリ等の様々な方法がありますが、これらが最大限の効果を発揮するためには、患者さんの体力を維持し、栄養状態を良好に保つことが必要です。しかし、病気の影響により、思うように食事が食べられない状態が長く続くことで、十分な栄養を摂ることが難しくなり、体重の減少や栄養状態の低下につながります。

そこで、栄養療法の専門研修を受けた医療スタッフがチームを結成し、主治医の治療方針に沿いながら、患者さんの治療を栄養管理の側面から支援するのが栄養サポートチーム(英語名: Nutrition Support Team)です。医療現場では、英語の頭文字をとりNSTと呼ばれています。当院では平成17年2月から活動を開始し、平成29年2月には日本静脈経腸栄養学会のNST稼働施設として認定されています。



## 多職種で患者さんの治療を栄養面から支えます！



医師、歯科医師、看護師、薬剤師及び管理栄養士が毎週カンファレンス(会議)を行い、対象患者さんの病棟を回診します。点滴、栄養剤の選択や量の調整、投与方法、食事形態の調整等の栄養療法を提案しています。歯科衛生士、言語聴覚士及び臨床検査技師もチームに所属し、必要に応じて専門職種による支援を行います。

また、最適な医療サービスが提供できるよう、院内スタッフ向けの勉強会を定期的で開催し、栄養療法のレベルアップを目指しています。

患者さんを中心とした、  
多職種によるチーム医療です。

栄養や食事に関する御相談  
については、病棟スタッフまで  
お声かけ下さい。



院内スタッフ向けの勉強  
会の一コマ。経管栄養剤  
や病院食の試食を行い、  
栄養療法の質の向上に  
つなげています。

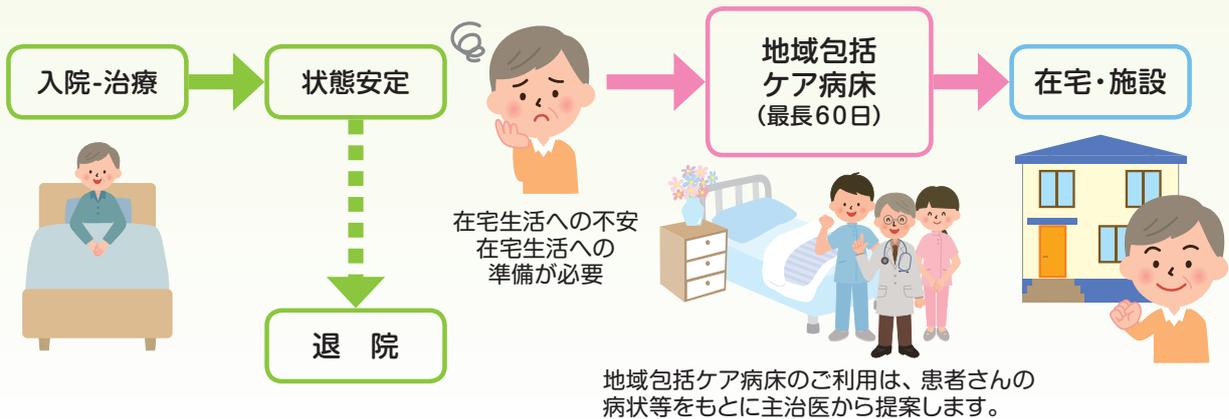
# 京北病院 地域包括ケア病床運用を開始!

京北病院は、京都市の4分の1を占める広大な北部山間地域である京北地域における唯一の病院として、外来診療及び急性期から慢性期までの入院診療を行うとともに、地域包括ケアシステム※の拠点として、訪問診療・訪問看護、通所リハビリテーションなどにより、医療や介護サービスの充実を図ってきました。

この度、京北地域の医療と介護を支える取組をより一層充実させるために、一般病床のうち10床を「地域包括ケア病床」とし、平成29年2月から運用を開始しました。京北病院では、「地域包括ケア病床」を活用し、引き続き、高齢の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう努めてまいります。

※地域包括ケアシステム…要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「医療・介護・予防・住まい・生活支援」が一体的に提供されるケアシステム

地域包括ケア病床は「在宅や施設への復帰」を目的とした病床です。病気やけがで入院し、治療が一段落したものの、すぐにご自宅や介護施設等へ戻るには不安のある患者さんに対し、しばらくの間、入院療養を継続しながら、主治医をはじめとして、看護師、リハビリテーションスタッフ及び医療ソーシャルワーカー等のスタッフが、患者さんやご家族の方と一緒に患者さんの症状やけがの具合に応じて「在宅や施設復帰に向けた準備」を行い、リハビリ等により退院を支援します。



## 平成29年4月から運行会社が「京阪京都交通」に変わりました!

今回運行を開始した無料送迎バスでは、以下のような特徴があります。

- ①12時台のバス(12時00分・12時30分:京都市立病院発)を増便
- ②ノンステップバスで乗降が便利



今後もますます便利となった京都市立病院無料送迎バスをどうぞご利用ください!!

## 健康教室「かがやき」

「健康はつくるもの」です。一人ひとりが健康づくりに取り組み健康に過ごしていただけるように、健康づくりを応援する当院各科講師による健康教室を開催します。

- 日 時 毎月第3金曜日 午後2時30分～午後3時30分
- 場 所 北館7階ホール2
- 定 員 先着順50名(予約不要)

5月19日(金)

『健康寿命を支える足～これだけは知っておきたい足のケア～』

6月16日(金)

『知っておきたい耳の病気』

7月21日(金)

『苦しくない内視鏡検査と胃がんの治療』

## 禁煙教室 ～吸う人も吸わない人も知って得するタバコの不思議～

タバコ煙の成分やニコチン依存症のしくみ、タバコによる健康被害、禁煙のコツなど、様々な視点から話をします。禁煙希望者には医師などが具体的なアドバイスを行うほか、その場で当院の禁煙外来を予約することができます。

- 日 時 毎月第2金曜日 午後2時～午後3時
- 場 所 北館7階ホール2
- 対 象 京都市立病院に入院や通院している方に限らず、禁煙に興味のある方ならどなたでも

## 糖尿病教室

糖尿病は、療養を怠ると数多くの恐ろしい合併症が現れる反面、適切な治療を続けていけば、健康な人と変わることなく生活することができます。糖尿病についての正しい知識を持って、糖尿病と向き合ってください。

- 日 時 毎月第3木曜日 午後3時～午後4時
- 場 所 北館7階ホール1

5月18日(木) 『食事療養こそ最高の特效薬です』

『運動でからだもこころもすこやかに』

6月15日(木) 『知っておきたい薬の知識 ～飲み薬～』

『日常生活の心得  
～こんな時どうしていますか?～』

7月20日(木) 『糖尿病の合併症 ～三大疾病から認知症まで～』

『始めてみませんか?  
お口のケアから見直す糖尿病』

## がん患者・家族のサロン「みぶなの会」

がんで療養中の患者さんとそのご家族の集まりです。患者さん同士で、色々な悩みをお話したり、情報交換ができます。人と話をしたり、話を聞くだけでも、気持ちが軽くなるものです。気軽な気持ちでご参加ください。

- 日 時 毎月第3水曜日 午後1時30分～午後3時30分  
毎月第4水曜日 午前10時～午後3時
- 場 所 北館7階サロン
- 対 象 がん患者さん及びそのご家族

### 送迎バス時刻表(無料・予約不要) ※平日のみ(土日祝・年末年始は運休)

時間	京都市立病院 ～出発～	阪急西院駅 (TSUTAYA前)	JR丹波口駅 (ユニクロ前)	京都市立病院 ～到着～
8時	30	35	45	50
9時	00 30	05 35	15 45	20 50
10時	00 30	05 35	15 45	20 50
11時	00 30	05 35	15 45	20 50
12時	00 30	05 35	15 45	20 50
13時	00 30	05 35	15 45	20 50
14時	00 30	05 35	15 45	20 50
15時	00 30	05 35	15 45	20 50
16時	00 30	05 35	15 45	20 50

### やすらぎ 2017・春号 2017年4月24日発行

発行：京都市立病院機構 京都市立病院

〒604-8845

京都市中京区壬生東高田町1番地の2

TEL 075-311-5311

FAX 075-321-6025



### 京都市立病院

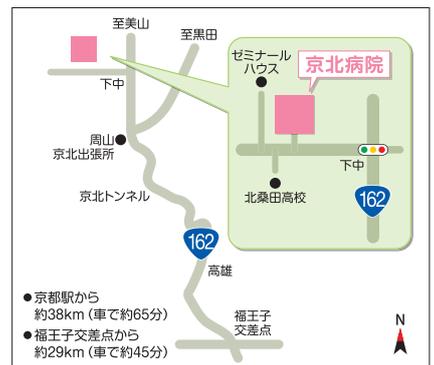
〒604-8845  
京都市中京区壬生東高田町1番地の2  
TEL 075-311-5311(代)  
FAX 075-321-6025(代)  
<http://www.kch-org.jp/>



♀ 送迎バス バス停  
♂ 京都市バス バス停

### 京都市立京北病院

〒601-0533  
京都市右京区京北下中町鳥谷3番地  
TEL 075-854-0221(代)  
FAX 075-854-0825(代)  
<http://www.kch-org.jp/keihoku/>



● 京都駅から  
約38km(車で約65分)  
● 福王子交差点から  
約29km(車で約45分)